第3種郵便物認可　朝日新聞　2026年（令和8年）6月7日（日）　13版S　10

朝日歌壇 俳壇

高野公彦選

禍福福禍福禍福の生なれど次来る福は特大がいい　（札幌市）西原　由佳
比治山の橋のたもとで被爆した十三の父九十三で逝く　（京都市）堀田　利典
アメリカは中国語では美国なり本当にそうか習近平さん　（船橋市）佐々木美彌子
連日の三十度超えの我が街も記録時間はめっきり冷え込む　（甲州市）麻生　孝
日常にナフサ不足は影落とし菓子パッケージもモノクロになる　（高崎市）野口　啓子
滑舌に若隆景を繰り返すつかへす言へるの三度がやっと　（名古屋市）三好　ゆふ
篠原氏豊かな感性実を結び四遇者が推す異なる四首　（狭山市）猪股　英行
親燕巣に入る前にひと啼きす卵への「ただいま」かもしれず　（下関市）内田　恒生
山里のつがいの雉は逃げぬらし車が避けると農夫が笑う　（阿南市）大唐　静子
おれたちの戦場送りに賛成か友と眺める国会中継　（調布市）吉野　楓

【評】1首目、慣用句「禍福は糾える縄の若し」を踏まえ、わが人生に対する期待を述べる。2首目、十三歳のとき広島で被爆した父が九十三歳まで生きたことへの深い感慨。10首目、徴兵制度が生まれるのかと心配そうに見守る作者十八歳。

永田和宏選

迫り来るクロード・ミュトスの危機がある手塚治虫の予言のとおり　（神戸市）前田　達生
母の日も父の日もなく才ザの孤児その日を生きるバケツの粥に　（東京都）三角　逸郎
☆人を待つ人はするとき目を持ちきハチ公前のスマホなき頃　（仙台市）沼沢　修
しゃくしゃくと前髪を切るこれまでの私さよなら視界良好　（流山市）汐入　音佳
破璃窓に月かげさしてなふしの春のやどりの静かな呼吸　（大分市）岩永　知子
ゴダールの「勝手にしやがれ」やってみた映画館だった生鮮スーパー（神戸市）松本　淳一
「内容のある雑談のできる人」女としては微妙な評価　（東京都）上田　結香
紫陽花のまえに母逝き紫陽花のあとに父逝く　花はただ咲く　（大津市）阪倉　瞳行
未読の本七冊かさねてうれしさは更級日記の少女におなじ　（仙台市）坂本　捷子
百万遍に第一勧銀ありしこ我が青春のパチンコモナコ　（盛岡市）福田　栄紀

【評】前田さん、ソフトウェアの脆弱性を見つける能力が突出し、あまりに危険なので一般公開が見送られたクロード・ミュトス。手塚さんも驚いている筈。生成ＡＩの今後から目が離せない。三角さん、一方でその日を生き凌ぐのに懸命な命も。

川野里子選

親猫が仔猫を抱え舐め続くどこにでもいる神というもの　（観音寺市）篠原　俊則
芍薬がポカンと爆発してみせる何か知らんが今年も負けた　（京都市）奥田佳代子
あの親子を人は嗤うのか牧に草ゆるり食みいる黒毛の牛たち　（栃木県）小谷野代志子
盗まれて海を渡ったスクーターぼくの知らない空を見ている　（和歌山市）岡田　信也
収穫さなか軍機うるさし大砲を撃つ恩いにてキャベツを放る　（羽村市）川元　源一
ぺこぺこと頭を下げて入り来る鴨居より高く伸びし孫らよ　（札幌市）谷代　久恵
ゴッホの黄あの椅子ならばいつまでも君を待ってそう夜のカフェテラス（横浜市）杉本　恭子
☆人を待つ人はするとき目を持ちきハチ公前のスマホなき頃　（仙台市）沼沢　修
残念な音に設定しておいた部長のラインが届く祝日　（生駒市）高橋　裕樹
大南風に高速船の行き交へば北と南の音入れ替はる　（東京都）大村　森美

【評】一首目、猫に宿る神は人間にも宿る。そう、どこにでもいる。二首目、圧倒的な華やかさだ。三首目、「親子」と呼んだ途端に何かが変わる。八首目、必死に人を探さなくなった人々だ。十首目、船の音の交差が心地よく、春を告げる。

佐佐木幸綱選

音鳴えて余韻の呼吸をおいてから拍手を起こす今日の聴衆　（船橋市）梅本　咲子
一字でも九条変えれば二の平和壊れる蟻の一穴となる　（八王子市）樹田　浩文
映画館銭湯書店なくなりてただ住むだけの町となりたり　（観音寺市）篠原　俊則
一買い物をしてくれる人募集中！　スーパーがない村の家々　（滋賀県）木村　泰崇
茜には戻れぬけれど少しだけガラスの窓枠桧のまな板　（下呂市）河尻　伸子
ふるさとの風土が心はぐくみき塾も本屋もなかったけれど　（仙台市）沼沢　修
北大の農場を撫でゆくやうに五月の風は牛の背を過ぐ　（札幌市）伊藤　哲
新しいクラスを予想して友と階段一段ずつ昇る　（奈良市）山添　爽
「劣性」は言い換えられて「潜性」に進化している遺伝の法則　（富田林市）芝田　敦
校内の廃材使い椅子作る誰かの「バカ」の文字を消しつつ　（柏市）伊藤　智紗

【評】第一首。音楽会の聴衆という表現しにくい対象を短歌の題材に選んだ作者の意欲に感心した。第二首、順法を変えようという声があちらこちらから聞こえてくる昨今である。第三首、痛烈な皮肉を表現する下句に注目。

小林貴子選

出来栄を鴨が見にくる田植えかな　（佐渡市）菊池与四郎
薔薇の名はシモーヌ・ヴェイユ燃える紅　（鎌倉市）佐々木　眞
初ついて蚊しくもない夜中の蚊　（高松市）藤原貴美子
ザビエルが布教せし場所風薫る　（山口市）林　朗
夏草の好みあるらし羊どち　（相模原市）鹿野加代子
みじんこの静かな宇宙杜若　（京都市）北條　正人
ぎりぎりの角度をねらふ夏燕　（相馬市）根岸　浩一
白靴の風より軽く走りそむ　（東京都中央区）久塚　謙一
淡々とホスピスに行く夏始め　（東京都目黒区）志田　祐子
雨蛙相手探して庭の隅　（甲府市）藤巻　嘉秀

【評】一句目、佐渡島に生息するようになったトキと人間の交流風景。二句目、フランスの女性政治家の名をつけたバラ。三句目、季語は初物を大事にする。「初鰹」なら嬉しいが「初蚊」は迷惑。四句目、ザビエルは今の山口県でも布教した。

長谷川櫂選

全身を風に舐められ更衣　（霧島市）秋野　三歩
蟻一団一匹の蟻踏み越えて　（神奈川県大磯町）前田　恵美
静かなるままに九条青嵐　（昭島市）奥山　公子
敗戦の夏を覚えず二歳なりき　（四国中央市）石川　明憲
初蛍や御神酒召したかかの乱舞　（福岡市）中島　啓介
外洋の邱波を殺す珊瑚礁　（京都市）窒　達朗
子と遊ぶ空中回廊朴の花　（厚木市）飯塚　智明
薫風を二両電ローカル線　（倉吉市）砂原　誠子
曲るともなく滝道となりにけり　（大野城市）野分　のわ
三匹の大型犬や夏来たる　（藤井寺市）横内　正人

【評】一席。風に抵められるのは厭くない。しかも全身。二席。まるで軍隊のような。昆虫界の非情。三席。条文はしんと静かな。人間界だけが騒がしい。十句目。大型犬の持つ風格。たとえば谷崎潤一郎の「瘋癲老人日記」に登場するポルソイ。

大串　章選

郭公や鳴く亜浪の名句浮かびけり　（盛岡市）守屋　光雅
白髪に合ふ色探す更衣　（大分市）小出　厚子
ひとりずつ友減る鵬遠蛙　（いわき市）佐藤　朱夏
風鈴売り風に商ひ任せをり　（松山市）正岡　唯真
白靴を買ひて八十路のクラス会　（伊丹市）保理江順子
剋教の鳥へと飛魚の誘へる　（大垣市）大井　公夫
恩ひ出すあの日あの人薔薇の園　（小山市）松本　喜雄
新茶汲み今日を語らふ二人かな　（長崎県波佐見町）川辺　酸模
蚊帳吊りて広がる子らの宇宙かな　（浜松市）川口八重子
草笛の不協和音も文楽し　（横浜市）前田なみき

【評】第1句。郭公の鳴き声を聞き、臼田亜浪の名句「郭公や何処までゆかば人に逢はむ」を思う。第2句。「白髪に合ふ色」が言い得て妙。素敵な衣服が見つかるでしょう。第3句。高齢になると友人たちが次次あの世に旅立ってゆく。寂しい。

高山れおな選

薔薇の声かとも少女の阿波言葉　（東かがわ市）桑島　正樹
春と夏の人の行きかふ更衣　（越谷市）新井高四郎
村ちゆうが泥のわだちの田植ゑかな　（岐阜県神戸町）林　宏尚
夏帽や四観仏高ぶらぶらす　（奈良市）小山寿美代
晩年の汗かく体たのもしく　（本巣市）清水　宏姿
若夏の衣さくりと鳥もずく　（宮若市）光富　渡
商標の神代鍬や夏来る　（加古川市）森木　史子
青風赤信号も語さぶれり　（横浜市）宇田　一男
雨粒にまみれ熊蜂ひとり伏す　（大村市）渕上　瞰
俳人のぶつぶつなんちゃもんちゃの花　（福岡市）高山　國光

【評】桑島さん。聞いてみたい！　新井さん。実際、服装に迷うこと多し。紀貫之に〈花鳥もみな行き交ひてむばたまの夜の間に今日の夏は来にけり〉。林さん。田植機が縦横に行き来して。小山さん。四観仏高は京の通り名を歌う童歌の一節。

〈八百屋のイチゴ〉　北村さゆり

うたをよむ　汀子さんとの句座

浦川　聡子

稲畑汀子さんと初めて句座をともにしたのは2014年だった。

その年、私が勤務している出版社から汀子さんの著書「花鳥諷詠、そして未来」を刊行した。出版を祝う食事会をした後、汀子さんが「家が近くなのでお茶を飲んで行きませんか」と。私たち編集者は、お言葉に甘えておじゃましることにした。ロイヤルブルーの絨毯が敷かれた部屋の中央にある大テーブルには短冊が置かれ、既に句会の用意が整っていた。突然、句会が始まった。

上棟祝ぐ心集へば春めきぬ

このとき汀子さんが詠まれた句だ。どの句集にも収録されていない、私にとって特別な一句。句会は定例となり、「アネモネ句会」と名付けられた。なかの一人が、アネモネの花瓶を持参していたからだ。以来、新型コロナウイルス蔓延の直前まで、毎月開催された。

汀子さんは私たちとの句会を楽しみにしてらしたそうだ。たぶんそれは、編集者という仕事柄出てくる言葉や話題、発想がめずらしかったからだろう。

句会を通して、汀子さんが、何か新しいものにチャレンジしているような気がした。具体的に何が、ということではなく、気配、気迫のようなものからだ。いま、有名な次の句が浮かぶ。

三椏の花三三が九三三がル

「伝統は革新である」の言葉がよぎる。

次の色はじまる雨の紫陽花に

私は、アネモネ句会の折に言っていただいた言葉を、生涯忘れない。

「聡子さん。いい句を作ろうと思わないで、いい句を作ってね」（俳人）

風信

「季節のことばをあじわう　はじめての俳句歳時記」　「俳句のつくり方・総さくいん」「春」「夏」「秋」「冬・新年」の全5巻。俳句を初めて学ぶ子ども向けで、傍題を含めた季語1400語以上を収録し、1500句以上の俳人の例句を収めた。総カラーで、写真やイラストを多く使っている。俳人の堀本裕樹さんが監修。（小峰書店・各巻3960円）

☆は共選作。入選作はデジタル版などにも掲載・収録し、記事やSNSで引用することがあります。投稿は未発表の自作のみ、二重投稿不可。選者が添削する場合があります。郵便での投稿は無地のはがき1枚に1作品、横に住所、氏名、電話番号を明記。〒104-8661 請海郵便局私書箱300、短歌は「朝日歌壇」、俳句は「朝日俳壇」へ。ネットからも投稿できます（週に2作品まで）。QRコードから。

NEWS 2WEEKS

日付は原則日本時間

■出来事

5/30～6/5

30日(土)
- 米国のヘグセス国防長官が「アジア安全保障会議」で演説。中国の軍備拡大に懸念を示し、日本を含む同盟国の防衛力強化を訴えた

31日(日)
- 国の特別天然記念物・トキの本州初放鳥が、石川県羽咋市であった。1970年に本州から姿を消して以来56年ぶりの定着をめざす
- アイドルグループ「嵐」がコンサートツアーの最終公演を東京ドームで開いた。デビューから26年半、5人

1日(月)
- 東京株式市場でソフトバンクグループの株価が大幅上昇し、時価総額がトヨタ自動車を上回り、国内上場企

2日(火)
- 東京電力は、福島第一原発2号機の使用済み燃料プールから核燃料を取り出す作業を始めた。水素爆発していない建屋での作業は初

3日(水)
- 台風6号が紀伊半島に一時上陸した。和歌山県では、新たな防災気象情報の運用開始後で初めてとなるレベル5（警戒）特別警報が出た
- 2025年に国内で生まれた日本人の子どもの数は67万1236人で、10年連続で過去最少に。合計特殊出生率も

4日(木)
- 佐賀県警の元職員がDNA型鑑定で不正を繰り返した問題で、警察庁が特別監察の結果を公表。不適切な鑑定は239件に

5日(金)
- 中東情勢によるエネルギー価格高騰に対応する補正予算が成立。2.5兆円が、ガソリン補助金を続けるための費用として想定
- 家電量販最大手のヤマダホールディングスと5位のエディオンが、経営統合で基本合意。売上高2.5兆円規

■主な予定

6/7～6/13

7日(日)　石油輸出国機構（OPEC）プラスの閣僚級会合

8日(月)　国際原子力機関の定例理事会。12日まで（現地時間）

10日(水)　国の基幹ロケット「H3」の打ち上げを再開

11日(木)　サッカーのW杯北中米大会が開幕（現地時間）

12日(金)　スイスでの国際労働機関（ILO）総会で最終日の本会議（現地時間）

13日(土)　天皇、皇后両陛下がオラン